

## ● 調査のポイント

- ▶何を明らかにしたいのか（目的）
- ▶対象地域・期間・年次
- ▶必要な指標（人数、割合、平均など）
- ▶一次統計か二次統計か

## ● 検索のポイント

- ▶キーワード：「統計」「統計資料」「統計年鑑」「白書」
- ▶ポイント：調査名・調査年を確認 / 調査方法や定義を確認する

## 日本の統計

### ■ 政府統計の総合窓口 (e-Stat)

- ▶ <https://www.e-stat.go.jp/>

各府省等が公表する統計データを検索できる、政府統計のポータルサイトです。統計データは分野別・組織別の閲覧やダウンロードができるほか、公表予定や新着情報、調査票項目情報といった各種統計情報を利用できます。



「統計を知る・学ぶ」統計について知る・学ぶためのリンク集  
★初学者向けの学習コンテンツも充実しています

### ■ e-Gov ポータル 統計

- ▶ <https://www.e-gov.go.jp/about-government/statistics.html>

行政機関が公表する、各種統計情報のWebサイトが紹介されています。経済産業省と内閣府が提供する「**RESAS 地域経済分析システム**」は、産業構造や人口動態といった官民のビッグデータを集約し、マップやグラフで可視化できます。

### ■ 統計ダッシュボード

- ▶ <https://dashboard.e-stat.go.jp/>

国や民間企業等が提供している主要な統計データを、グラフで見ることができます。よく利用されるデータはあらかじめグラフ表示され、年代や地域による比較ができます。

### ■ 総務省統計局ホームページ

- ▶ <https://www.stat.go.jp/>

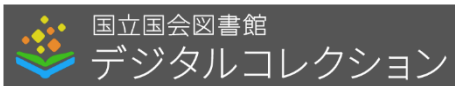
総務省統計局が現在実施中の調査情報や、統計調査結果などを掲載しています。統計データは分野別や50音順別に探すことができます。総務省統計局が発行する、日本の国土、人口、経済といった広範な分野の総合統計『**日本の統計**』のWeb版も閲覧できます。

## ■ 明治大正国勢総覧（国立国会図書館デジタルコレクション）

▶ <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1269537>

戦前に刊行された、明治大正期の国勢に関する統計を掲載した資料のデジタル公開版です。過去のデータ、調査・分析手法をみることができます。

★デジタルコレクションWebサイトはバナーをクリック ➡



## 世界の統計

### ■ 総務省統計局ホームページ

【世界の統計】

▶ <https://www.stat.go.jp/data/sekai/index.html>

総務省統計局が発行する『世界の統計』のWeb版です。国際機関が提供する統計データを元にした、各国の人口、経済、環境といった広範な分野の統計が掲載されています。

★統計データの入手先や、統計調査に関するQ&Aをまとめられたページがあります

➡ <https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

【外国政府や国際機関の統計ページ】

リンク集のなかの「[外国政府の統計機関](#)」では、各国統計局のWebサイトへアクセスできます。「[国際機関等](#)」では、APEC（アジア太平洋経済協力）など、国際機関の統計に関するWebサイトにアクセスできます。

### ■ OECD Data Explorer

▶ <https://data-explorer.oecd.org/>

OECD（経済協力開発機構）の統計データベースです。加盟国に関する各種統計がテーマごとにまとめられており、検索も可能です。統計データは、表やグラフでの表示やダウンロードができます。

### ■ The World Bank

▶ <https://data.worldbank.org/>

世界銀行が公開する統計データにアクセスできます。データの検索や、国別 / カテゴリー別（農業・経済・気候など）の表示ができ、統計データは、グラフ・マップでの閲覧やダウンロードが可能です。

### ■ Asian Development Bank（アジア開発銀行）

▶ <https://www.adb.org/what-we-do/data>

68の加盟国・地域（うち49がアジア・太平洋）からなる国際開発金融機関である、ADBの統計データが公開されています。「[Key Indicators Database](#)」（中央統計データベース）は、経済・金融の主要な指標を検索することができます。